

平成30年4月2日 部長会議の概要

場 所 市役所4階政策会議室
出席者 市長、宍戸副市長、武山副市長、教育長、企画部長、行政経営担当部長、総務部長、市民生活部長、経済環境部長、農地利用担当部長、保健福祉部長、健康づくり担当部長、子ども部長、都市部長、国県事業推進担当部長、土木部長、消防長、議会事務局長、教育部長

[訓 示]

○市 長

- ・組織の一部改正や人事異動により、新年度の執行体制を整えた。
- ・平成30年度の市政運営にあたっては、いまから話すことを念頭に置き、改めて伊勢原市の目指す将来の姿を各職員が共有し、「市民目線」、「現場主義」を念頭に、様々な課題に対し、スピード感を持って業務に取り組んでほしい。
- ・今年度は第5次総合計画 後期基本計画の初年度である。前期5年間で獲得した成果を礎に、「しあわせ創造都市いせはら」の実現に向け、各施策を着実に推進してほしい。
- ・近年の地方自治体を取り巻く社会環境は、人口減少・超高齢社会の到来や国内外の経済の先行き不透明感、さらには大規模化・多発化する自然災害など、年々、厳しさを増している。
- ・その一方で、昨年度、伊勢原駅北口のまちづくりを進める上で長年の懸案であった通称「つゆきビル」の解体工事が終了し、観光面では小田急のダイヤ改正に伴ってロマンスカーが増便された。また、市域では新東名高速道路の開通に向けた建設が日々進められ、さらには、2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催や市制施行50周年を間近に控えるなど、伊勢原は今、大きな変革期を迎えようとしている。
- ・こうした機会を好機と捉え、伊勢原に住み、働き、学び、また訪れる誰もがしあわせを実感していただくことができるまちの実現を目指すため、後期基本計画の施策体系に基づく取組と、今回の計画の「大きな柱」となるリーディングプロジェクトを、全庁一丸となって力強く推進してほしい。
- ・高齢化の進展に伴い、社会保障関連経費は更なる増加が見込まれる一方で、公共サービスに対するニーズは多様化・高度化し、本市の財政は引き続き厳しい状況が続くことが予測される。変化が激しい状況の中で、国や県の動きを注視しつつ、平成30年度予算執行にあたっては、漫然と執行することなく、コスト意識を持って、更なる創意と工夫、見直し等によって合理的かつ効率的に執行するようお願いしたい。
- ・行財政改革についても、本年度が第5次行財政改革推進計画のスタートの年となる。幹部職員自らが改革する意識を持ち、これで良いのかという疑問を常に持ちながら、職員の意識や仕事の仕方を変えるとともに、行政運営に若い職員の感覚も取り入れてほしい。
- ・現代は、変化のスピードがとても速く、また、不透明感が強い時代である。このような環境変化に適切に対応していくため、職員には、アンテナを高くし、情報を敏感に捉えてほしい。
- ・それと同時に、各部長はもとより課長、係長においては、市の経営者として、より広い視野から市全体を見渡し、常に経営感覚を持って市政運営に取り組んで欲しい。
- ・また、各部において抱える問題や課題があれば、できるだけ早く情報共有し、庁内全体として対応できるよう、横の連携を密にするとともに、各職場において、業務の見える化と同時にコミュニケーションを常に図りながら、報告、連絡、相談を全職員が共通認識として今一度徹底してほしい。
- ・この4月より、新採用職員を迎え入れた。新採用職員に限らず、若手職員に対しては、幹部職員が率先して積極的に、個々の職員の状況に応じた指導・助言を行うとともに、日ごろの業務に取り組む中で「背中を見せる」ことで、伊勢原市の職員としてあるべき姿を示してほしい。

- ・また、職員が一体となるためには、あいさつや声かけが組織の中で実践できているかどうかが大切だと思う。風通しの良い職場づくりに向け、再度あいさつの励行と、電話対応の徹底をお願いする。
- ・以上、平成30年度の市政運営にあたっての基本的な考え方を述べた。先ほど申し上げたとおり、市全体として大きな動きがある中で、それを好機と捉え、変化を恐れることなく、あらゆる課題に対して積極的にチャレンジしてもらいたい。職員の御協力をお願いする。

[協議事項]

- (1) **伊勢原市地域公共交通網形成計画(案)のパブリックコメントの結果について [都市部]**
 - ・平成30年2月1日から3月2日まで実施した伊勢原市地域公共交通網形成計画(案)のパブリックコメントに寄せられた意見と市の対応の考え方について協議した。

[報告事項]

- (1) **自治大学校「第3部課程第109期」派遣職員の募集に係る周知について [総務部]**
 - ・自治大学校「第3部課程第109期」に派遣する職員の庁内公募等について報告した。
- (2) **早稲田大学マニフェスト研究所 人材マネジメント部会研究生の派遣決定について [総務部]**
 - ・早稲田大学マニフェスト研究所の人材マネジメント部会へ派遣する職員の決定について報告した。
- (3) **平成30年度契約事務について [総務部]**
 - ・平成30年度の契約事務を適正に執行するため、入札制度検討委員会・幹事会において、方針決定された内容を報告した。
- (4) **住民総参加型スポーツイベント「チャレンジデー伊勢原 2018」について [保健福祉部]**
 - ・5月30日(水)に開催される「チャレンジデー伊勢原 2018」への参加と関係団体への周知を依頼した。
- (5) **神奈川県屋外広告物条例に基づく広告景観形成地区の指定について [都市部]**
 - ・神奈川県屋外広告物条例に規定する広告景観形成地区の指定に伴う説明会の開催について報告した。
- (6) **平成30年度小・中学校長及び教頭の配置について [教育部]**
 - ・平成30年度小・中学校長及び教頭の配置について報告した。
- (7) **平成30年度予算執行方針について [企画部]**
 - ・平成30年度予算執行方針について、適正かつ厳正な執行を確保するため、本日付で通知することを報告した。

[指示事項等]

○市長

- ・警察OB職員を4月から人権・広聴相談課へ配置した。役所内では、3人目の配置となる。窓口でのトラブル等があった場合には、各部署間で連携しながら対応するよう、職員にも周知徹底をお願いする。
- ・現在、市内で様々な動きがある中で、新聞等による報道もされている。報道機関への対応については、誤解を与えることの無いよう、十分注意を払うこと。

○中央副市長

- ・人材育成の長期的な視点から、組織全体の底上げを図るためにも、職員の積極的な研修派遣に協力願いたい。

○武山副市長

- ・4月からの新たな部長においては、部長としての対応に迷う時は、いつでも相談してほしい。また、継続の部長については、気持ちを新たに、新年度取り組んでほしい。

以 上